

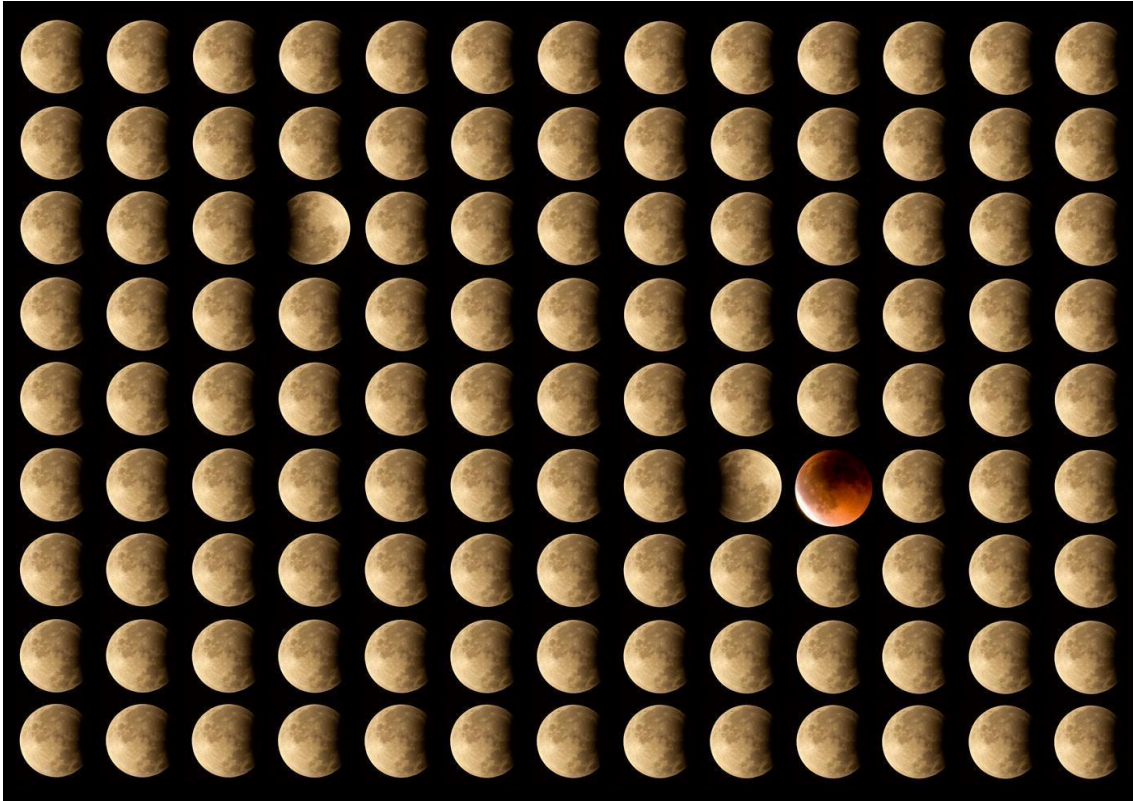
## GWには月のアートを

人類は再び、月へ。そして私は、月を見続けてきた。

遠藤湖舟展2026 『巡る月、視るということ - The Circling Moon -』

【会期】 2026年 4月29日（水・祝）から5月5日（火・祝）

【会場】 玉川高島屋本館5F アートサロン



©2026 Koshu Endo 『巡る月 - The Circling Moon - 』

「月」をテーマにした個展『巡る月、視るということ - The Circling Moon -』が、玉川高島屋アートサロンにて4月29日（水・祝）から5月5日（火・祝）まで開催されます。

ロサンゼルス・カウンティ美術館（LACMA）に作品が収蔵されているアーティスト、遠藤湖舟（えんどう こしゅう）による個展で、本展では、遠藤自身が実際に撮影した写真を元に、日ごろ目にする「月」を、アートへと昇華させています。

2026年、人類は再び月へ向かいました。  
アルテミス計画の進行は、半世紀以上の時間を越えて、私たちの視線を再びあの天体へと引き戻しました。

遠藤が幼い頃から惹かれてきた月。  
中学生の頃、望遠鏡で初めて撮影した光景、そして1969年、アポロ11号の映像をテレビで見つめた記憶。

個人的な記憶と、人類が共有してきた時間とが重なり合いながら、「月」という存在をあらためて見つめ直します。

巡り続ける月の光は、同じようできて決して同じではありません。  
その光を見つめることは、時間そのものに触れることなのかもしれません。



©2026 Koshu Endo 『環として残る光 - A Ring of Remaining Light - 』

#### 【開催概要】

開催期間：2026年4月29日（水・祝）～ 5月5日（火・祝）

時間：10:00～18:00 ＊最終日は16:00で終了

会場：玉川高島屋本館5F アートサロン

(<https://www.takashimaya.co.jp/tamagawa/sc/departmentstore/access/index.html>)

入場料：無料

協力：株式会社JSP／三菱ケミカル株式会社／ブラップノード株式会社

#### 【遠藤湖舟（えんどう こしゅう）プロフィール】

遠藤湖舟は写真を中心とした、総合的なアート表現を行ってきました。宇宙から微生物までを対象とし、「境界を超えた」シームレスな世界にアプローチしようとしています。

2006年より個展を開催し、翌年、写真集『宇宙からの贈りもの』（講談社）が出版されました。2015年には高島屋四店（日本橋、京都、大阪、横浜）で大規模な巡回個展『天空の美、地上の美。』開催、2017年には公立美術館である奥田元宋・小由女美術館（広島県三次市立）で個展が開催されました。同時期、ニューヨークでも海外初の個展を開催し、展示作品2点がロサンゼルス・カウンティ美術館に収蔵されました。一方、2018年には京都・北野天満宮で遠藤湖舟写真空間『星河悠久』を作り上げるなど、幅広く活動しています。玉川高島屋アートサロンでは、今回で10回目の個展開催となります。

1954年に長野県で生まれ、77年早稲田大学理工学部応用化学科卒業。科学的な目と思考を基本に持ちながら、心で感じる「美」へ強くアプローチしようとしています。スタジオは東京世田谷にあり、さまざまな手法で作品制作に取り組んでいます。

本件に関するお問い合わせ先

【問い合わせ先】

ジオコーポレーション 池田

Phone : 03-5706-0100

Mail : [geocorpjapan@gmail.com](mailto:geocorpjapan@gmail.com)